



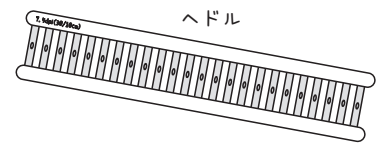
オリヴィエの テキストが はじめての方へ

Rich More リッチモア

※織り始める前に、オリヴィエ本体に同封している取扱説明書をご参照ください

オリヴィエ〈アルテア〉は、オリヴィエ40と同様です。

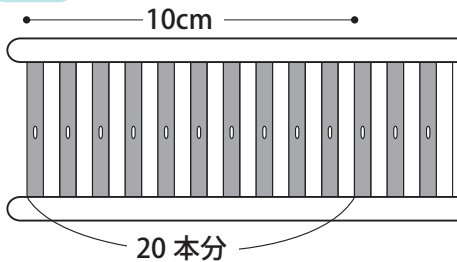
- 使用織り機…「オリヴィエ〈織美絵〉」の表示は40cm幅を、「オリヴィエ〈織美絵〉60」の表示は60cm幅の織り機を使用します。
- 使用糸…タテ糸とヨコ糸両方に使用する糸をまとめて表示しています。
- 使用ヘドル…使用するヘドルを表示しています。20羽、30羽、40羽、50羽があります。(30羽は本体のセットに含まれています。ほかは別売りです。)



〈ヘドルの種類〉

ヘドルは、タテ糸の太さにあわせて4種類あります。それぞれ、10cmあたりに通せるタテ糸の本数が違います。

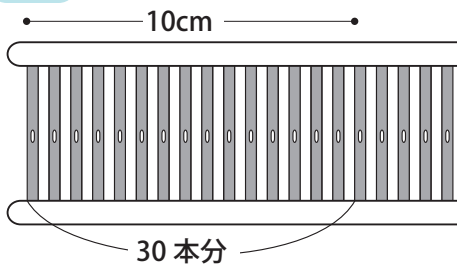
20羽



10cmあたり20本のタテ糸を通すことができる密度です。

太いタテ糸 (超極太)
(タテ糸どうしの間隔が広い)

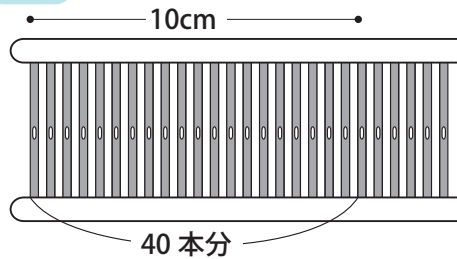
30羽



10cmあたり30本のタテ糸を通すことができる密度です。

太めのタテ糸 (極太)

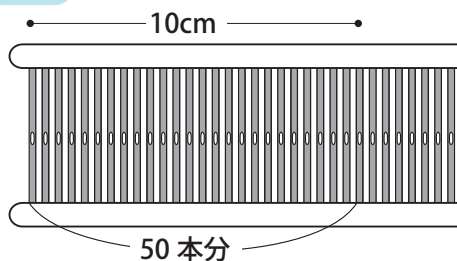
40羽



10cmあたり40本のタテ糸を通すことができる密度です。

細めのタテ糸 (並太~合太)

50羽



10cmあたり50本のタテ糸を通すことができる密度です。

細いタテ糸 (中細~極細)
(タテ糸どうしの間隔が狭い)

●付属品…糸と織り機のほかに必要な材料を表示しています。

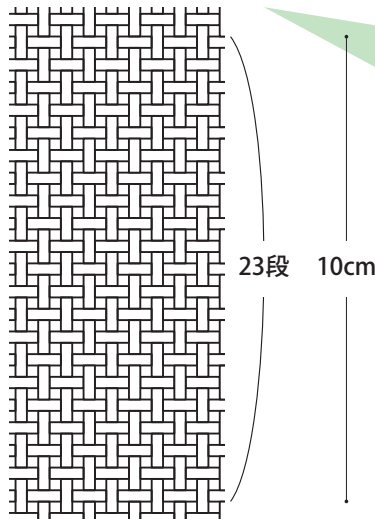
●ヨコ糸密度…ゲージのこと。ヘドルの打ち込み具合の目安です。

表示は原則織り機からはずした後のゲージなので、縮み分を考慮してください。

〈ヨコ糸密度の例〉

・23段/10cmの場合

出来上がりが、10cmあたり23段になる力加減でヨコ糸を打ち込みます。



織っている最中は、糸が引っ張られた状態です。そのため、織り機からはずすと織地は縮みます。表示している〈ヨコ糸密度〉は織り機からはずした後の密度ですので、縮み分を考慮して打ち込みの力加減を調整します。
※縮み分は糸の種類や模様によって変わります。

●織り上がり寸法…織り機からはずした状態のサイズを表示しています。(フサは含みません)

●作り方

・タテ糸の本数…必要なタテ糸の本数。

タテ糸の本数の決め方 **織りたい幅(cm)×3**(ヘドル30羽の場合)

・ヘドル通し幅…ヘドルにタテ糸を通したときの幅(織り上がりは数cm縮む)

・タテ糸の長さ…必要なタテ糸の長さ。

タテ糸の長さの決め方 **織りたい長さ(cm) + 織り縮み分(織りたい長さの10%(cm)) + ロス分約30cm**

※フサを長くする場合はロス分を多めにとります

※素材や織り方によって縮み分は異なります

各テキストの〈タテ糸の長さ〉には、織り縮みやロス分、フサの長さが含まれています。

例えば、30羽のヘドルで幅25cmを織りたい場合
 $25(\text{cm}) \times 3 = 75(\text{本})$
⇒タテ糸は全部で75本必要

ヘドル20羽の場合は×2
ヘドル40羽の場合は×4
ヘドル50羽の場合は×5
で計算します。

例えば、長さ40cmのマットを織りたい場合
 $40(\text{cm}) + 4(\text{cm}) + 30 = 74(\text{cm})$
⇒タテ糸の長さは74cm

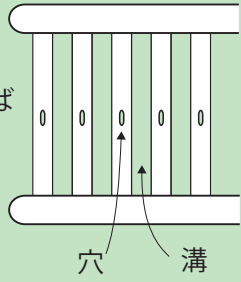


詳しくは本体同封の取扱説明書をご覧ください

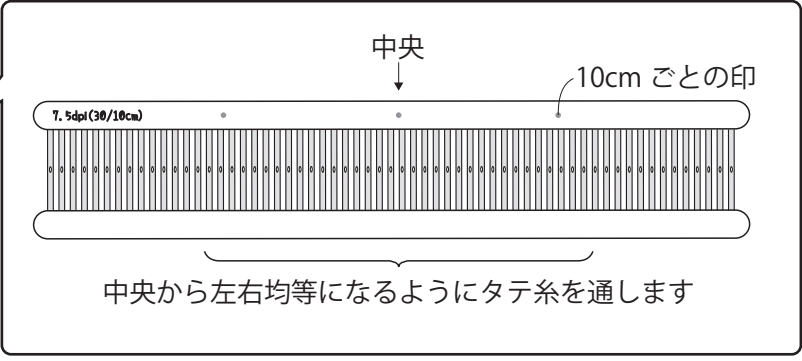
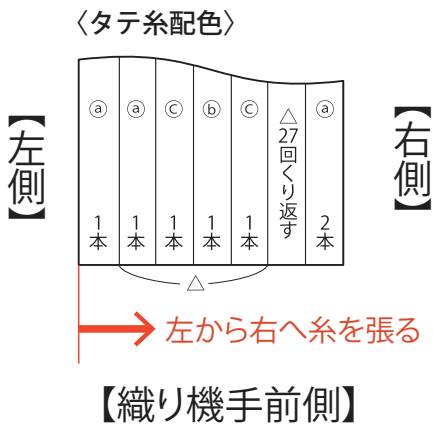
タテ糸の準備のしかた
⑤～⑧ページ

図の見方

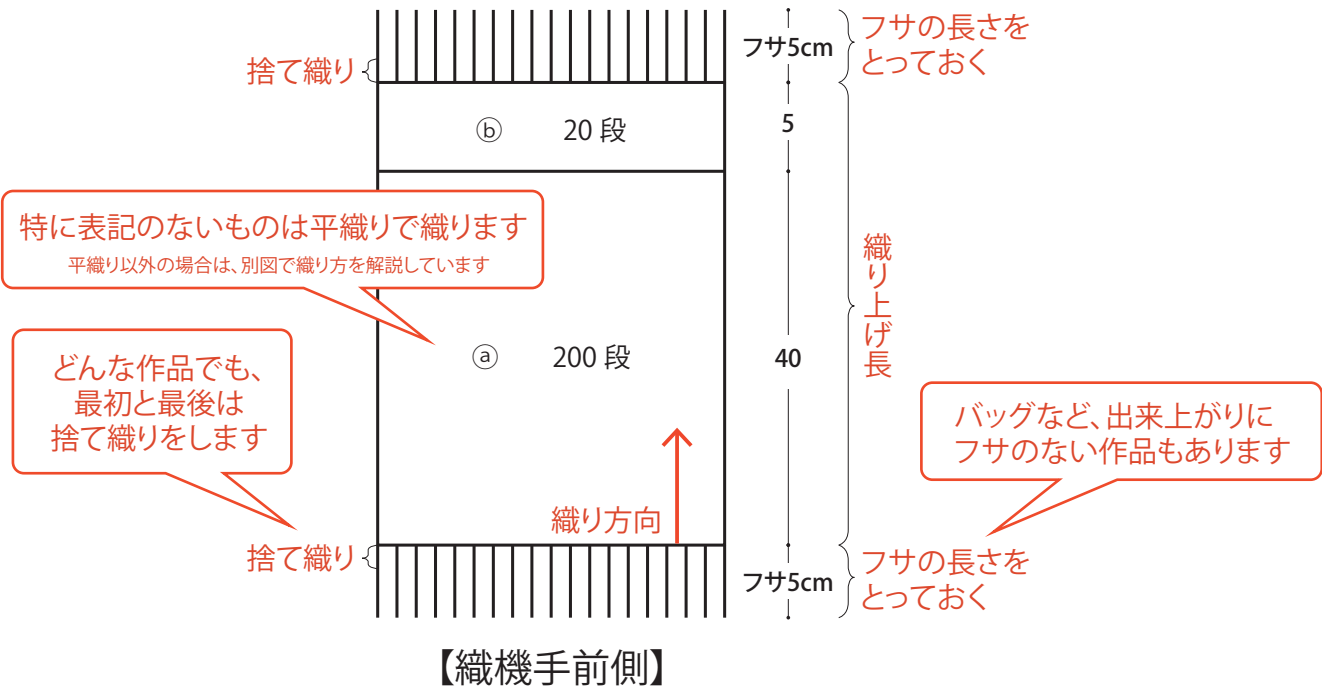
タテ糸を通す両端は、特に指定がなければ
穴・溝どちらからはじまっても OK です



〈タテ糸配色の指示がある場合〉



〈ヨコ糸の指示がある場合〉



詳しくは本体同封の取扱説明書をご覧ください



ヨコ糸の織り方
⑨～⑪ページ

ヨコ糸のかえ方
⑪ページ

織り上がりの仕上げ方
⑬ページ